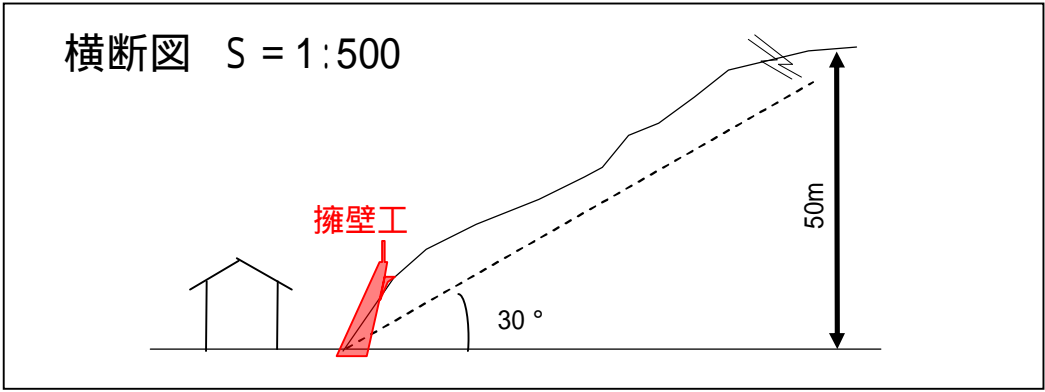
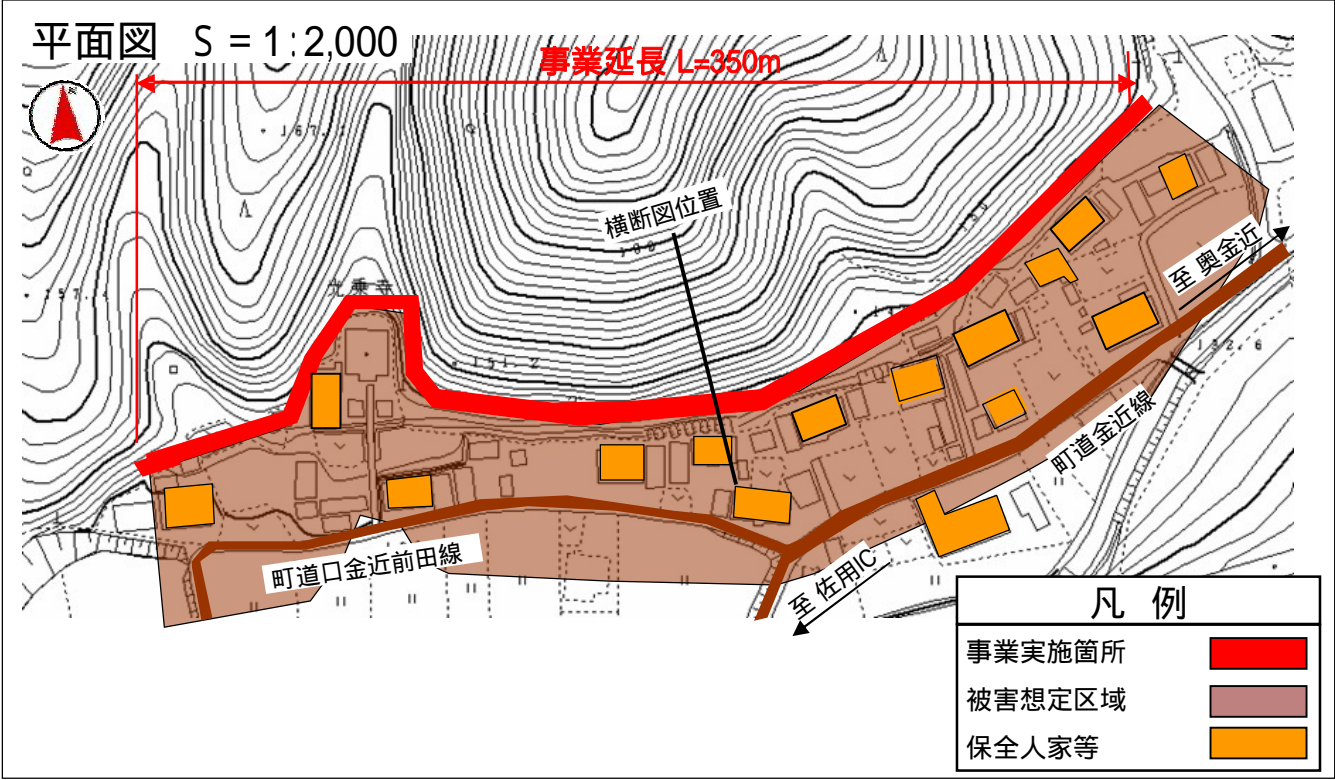
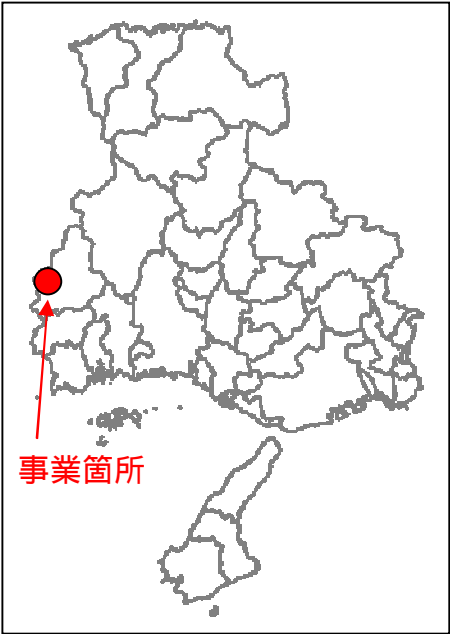


投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (鶴崎 尚夫)	内線	4459 (4467)
------	-----	---------------------	-------------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊 対策事業	事業名	事業区間	総事業費	1.8億円
		急傾斜地崩壊対策 <small>くちかねちが</small> 口金近(1)地区	佐用町 <small>くちかねちが</small> 口金近	内用地補償費	- 億円
所在地				着工予定 年 度	完成予定 年 度
佐用町口金近				H22	H25
事業目的			事業内容		
急傾斜地崩壊による災害の防止 当地区は斜面崩壊の危険性が高く、急傾斜地崩壊危険箇所となっている。斜面下部には人家や町道等があるため、防災工事を行い、地域の安全・安心な暮らしを支える。			急傾斜地崩壊対策事業 擁壁工 L = 350m 〔負担割合 国 : 47.5% 県 : 47.5% 地元 : 5.0%〕		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 〔地区の状況〕		<ul style="list-style-type: none"> 中国自動車道佐用インターチェンジの東約1.3kmに位置する急傾斜地崩壊危険箇所。 人家裏には高さ50mの急斜面が近接している。 斜面下には落石が見られ、斜面崩壊の危険性が非常に高い。 			
〔保全対象等の状況〕		<ul style="list-style-type: none"> 延長350m、幅50mの被害想定区域で、崩壊した場合の影響は大きい。 人家15戸、町道(約300m) 			
(2)有効性・効率性 〔効果〕		<ul style="list-style-type: none"> 上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 平成19年度には土砂災害警戒区域を指定しており、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。 			
〔事業執行環境〕		<ul style="list-style-type: none"> 事業の同意を得ているため借地契約に問題はない。 工事予定箇所付近には町道があるため、工食用進入路に問題が無く、また田畑も多く資材ヤードの確保も容易なことから円滑な事業執行が可能。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> 擁壁工の計画規模を必要最小限に抑えることにより、斜面の改変を少なくし、既存斜面の緑を残す。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> 斜面下には落石も多く、早期着手に対する地元要望も強い。 <p>以上より、H22年度に事業着手し早急な対策が必要である。</p>			



箇所名	口金近(1)地区
-----	----------